

# 小学6年 算数 — 解答と解説

**1**

(1)	(2)	(3)
490	15	$\frac{3}{8}$
21	22	23

(4)	(5)	(6)
2	9.4	6
24	25	26

**2**

(1)	(2)	(3)
1360 円	75 度	2625 円
27	28	29

(4)	(5)	(6)
7	25 (分)	1400 円
30	31	32

**3**

(1)	(2)	(3)
2	3	44 (番目)
33	34	35

**4**

(1)	(2)	(3)
9 $\text{cm}^2$	21.98 $\text{cm}$	74.94 $\text{cm}^2$
36	37	38

**5**

(1)	(2)	(3)
5 分	毎分 15 m	281.25 m
39	40	41

**6**

(1)	(2)	(3)
6 倍	27 分間	5 人
42	43	44

**7**

(1)	(2)	(3)
30 度	3 : 5	12 : 13
45	(完答) 46	(完答) 47

**8**

(1)	(2)
120 種類	42 種類
48	49

(3)	
ア 360 (個)	イ 139980
(完答) 50	

(配点) 各 5 点×30 計150点

下にある「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。これらの思考スキルは、算数の問題に限らず、さまざまな場面でも活用することができる大切な力です。解説では、問題ごとに意識してほしい思考スキルを示しています。今後の学習でも、思考スキルを意識して、問題に取り組むとき活用するように心がけてみましょう。

## 思考スキル

### ○じょうほう かくとく情報を獲得する

- ・問題文から必要な情報や条件を正しくとらえる
- ・図やグラフなどから必要な情報を正しくとらえる

### ○情報を活用する

- ・とらえた情報を、他の問いでも活用する
- ・とらえた情報から、さらに別の情報を引き出す
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

### ○再現する

- ・計算を正しく行う
- ・持っている知識を状況じょうきょうに応じて正しく運用する
- ・問いの指示せうし通りの操作を正しく行う

### ○置きかえる

- ・問いの状況を図やグラフなどに表す
- ・問いを別の形に言いかえる
- ・未知のものを自分にとってなじみの形にする
- ・比の値を具体数で表す
- ・数値をあてはめて、特定の状況をとらえる
- ・解答の範囲はんいや大きさを予測する

### ○調べる

- ・方針を立て、考えられる場合をもれや重複なく全て探し出す
- ・書き出すことを通じて、きまりを見つける

### ○順序立てて変化をとらえる

- ・変化する状況を時系列で明らかにする
- ・複雑な状況を要素ごとに筋道立てて明らかにする

### ○一般化する

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式を導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえる

### ○してん視点を変える

- ・図形を別の視点で見る
- ・立体を平面としてとらえる
- ・多角的な視点から対象をとらえる

### ○とくちょうてき特徴的な部分に注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・規則や周期に注目する
- ・対称性たいしょうせいに注目する
- ・際立った部分(計算式の数、素数、約数、平方数、…など)に注目する

### ○特定の状況を仮定する

- ・きょくたん極端な場合から考える(もし、全て…なら)
- ・不足を補ったり、余分を切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数のものが移動するとき、特定のもののだけを移動させて状況をとらえる



(5) (水位変化とグラフ) **A2** **情報を獲得する** **再現する**

$18 \times 15 \times 10 \div 15 = 180$  (cm<sup>3</sup>/分) ……この容器に1分あたりに入る水の量

$12 \times 15 \times (20 - 10) \div 180 = 10$  (分) ……水を入れ始めて15分後から満水になるまでの時間

$15 + 10 = 25$  (分)

(6) (倍数算) **A2** **再現する** **置きかえる**

2人のお金やりとりをしても、2人の所持金の和は変わりません。

AさんとBさんの今の所持金をそれぞれ⑦、①、やりとりした後の所持金をそれぞれ③、

①として線分図に表すと、右のようになり

ます。⑧(=⑦+①)と④(=③+①)が

等しいので、⑧=④より、②=①とわか

ります。

よって、③=②×3=⑥となり、⑦-⑥

=①が200円にあたるのがわかります。

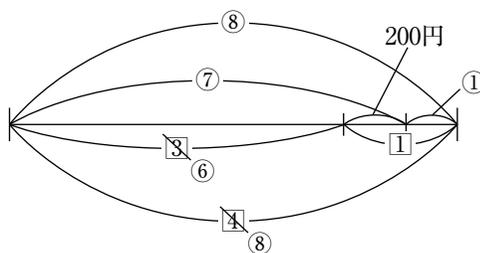
$200 \times 7 = 1400$  (円)

(別解)

AさんとBさんの所持金の和は変わらないので、その和を1とします。

$$1 \times \frac{7}{7+1} - 1 \times \frac{3}{3+1} = \frac{1}{8} \dots\dots 200 \text{円にあたる割合}$$

$$200 \div \frac{1}{8} \times \frac{7}{7+1} = 1400 \text{ (円)}$$



## ③ (規則性)

周期に着目したり、和に目を向けたりしながら、数列の特徴を複数の視点からとらえていくことが大切です。とらえた規則を式に結びつけていくために、どんな工夫ができるのかをこれからも考えていきましょう。

- (1) B1 情報を獲得する 再現する

$$\frac{1}{2} + \frac{1}{2} + \frac{1}{4} + \frac{1}{2} + \frac{1}{4} = 2$$

- (2) B1 情報を獲得する 再現する

$$2 + \frac{1}{8} + \frac{1}{2} + \frac{1}{4} + \frac{1}{8} = 3$$

- (3) B2 情報を活用する 一般化する

(1)(2)を考えることで、この数列は、次のように分数の和が1になる組を作れることがわかります。

$|\frac{1}{2}, \frac{1}{2}|, |\frac{1}{4}, \frac{1}{2}, \frac{1}{4}|, |\frac{1}{8}, \frac{1}{2}, \frac{1}{4}, \frac{1}{8}|, |\frac{1}{16}, \frac{1}{2}, \frac{1}{4}, \frac{1}{8}, \frac{1}{16}|, \dots$   
 よって、このような組で考えたときの1組目から8組目までのすべての分数の和が8となります。

各組の分数の個数は2個、3個、4個、5個、…、と1個ずつ増えていくので、8組目の分数の個数は9個(=8+1)となります。

$$2+3+4+5+6+7+8+9=44(\text{番目})$$

## ④ (図形の回転移動)

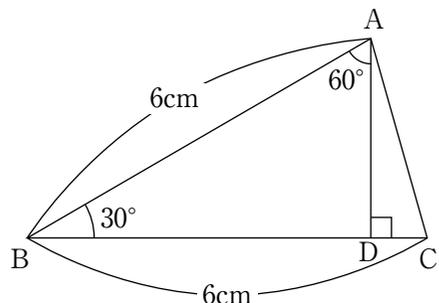
30度という角度に着目すると、三角形の高さを求めることができます。直角三角形のうち、45度の角度を持つもの(直角二等辺三角形)と、30度と60度の角度を持つもの(正三角形を半分にした形)については、辺の長さの比を確認しておきましょう。

- (1) A2 情報を獲得する 再現する

右の図のように、AからBCに垂直な線を引き、BCとの交点をDとします。

このときできる三角形ABDは、1辺の長さが6cmの正三角形の半分の形なので、ADの長さは3cm(=6÷2)となります。

$$6 \times 3 \div 2 = 9(\text{cm}^2)$$





(3) **B2** 順序立てて変化をとらえる 特定の状況を仮定する

みえさんがあやさんと同じ5分かかって駅からデパートまで移動することになります。そこで、つるかめ算の考え方を利用して考えます。みえさんは「動く歩道」の上を進むので、歩くのをやめても毎分15mの速さで移動することになります。

$$(300 - 15 \times 5) \div (75 - 15) = 3.75 \text{ (分間)} \quad \dots\dots \text{みえさんが「動く歩道」の上を歩く時間}$$

$$75 \times 3.75 = \underline{281.25} \text{ (m)}$$

## ⑥ (ニュートン算)

ニュートン算の問題は、いつでも、水がわき出るようなものや、牛が草を食べるようなものだけが題材になるわけではありません。題材に惑<sup>まど</sup>わされずに、どのようなときにどのような考え方が利用できるのかを頭に入れておきましょう。

(1) **B1** 情報をとらえる 置きかえる

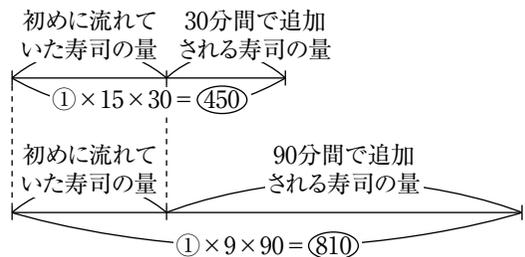
客1人が1分間に食べる寿司の量を①として線分図に整理すると右のようになります。

$$\textcircled{1} \times 9 \times 90 - \textcircled{1} \times 15 \times 30 = \textcircled{360}$$

……60分間(=90-30)で追加される寿司の量

$$\textcircled{360} \div 60 = \textcircled{6} \quad \dots\dots 1 \text{ 分間で追加される寿司の量}$$

$$\textcircled{6} \div \textcircled{1} = \textcircled{6} \text{ (倍)}$$

(2) **B1** 情報を活用する 置きかえる

$$\textcircled{450} - \textcircled{6} \times 30 = \textcircled{810} - \textcircled{6} \times 90 = \textcircled{270} \quad \dots\dots \text{初めに流れていた寿司の量}$$

$$\textcircled{270} \div (\textcircled{1} \times 16 - \textcircled{6}) = \underline{27} \text{ (分間)}$$

(3) **B2** 情報を活用する 順序立てて変化をとらえる

$$\textcircled{270} + \textcircled{6} \times 12 - \textcircled{1} \times 7 \times 12 = \textcircled{258} \quad \dots\dots 12 \text{ 分後に流れている寿司の量}$$

$$(\textcircled{258} + \textcircled{6} \times 43) \div (\textcircled{1} \times 43) = 12 \text{ (人)} \quad \dots\dots \text{客の人数の合計}$$

$$12 - 7 = \underline{5} \text{ (人)}$$

(別解)

$$\textcircled{270} + \textcircled{6} \times (12 + 43) = \textcircled{600}$$

$$\{ \textcircled{600} - \textcircled{1} \times 7 \times (12 + 43) \} \div 43 = \underline{5} \text{ (人)}$$

7 (面積と辺の比)

「BEは角ABDの2等分線」とありますが、これまでの学びで「角の2等分線」についての説明はなかったかもしれません。しかし、問題文の前後の関係や図から十分にその意味は推測可能すいそくなはずです。入試でもこのような出題がないとはいえないので、そのときは冷静に判断するようにしましょう。

(1) B1 情報をとらえる

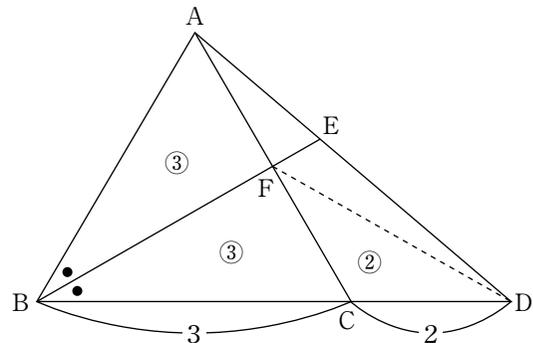
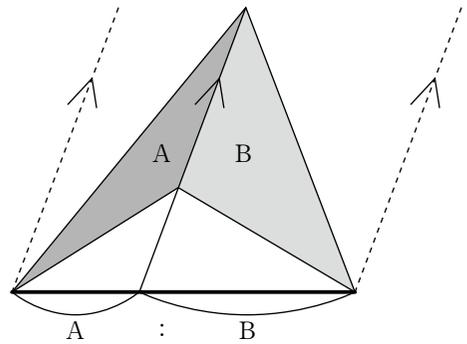
BEは角ABDの2等分線なので、角ABFの大きさは $60 \div 2 = 30$ (度)です。

(2) B2 情報をとらえる 視点を考える

右図のようにになっているとき、影をつけた部分AとBの面積の比は、太線部分の比と等しくなります。このことを利用して考えます。

AE : EDは、三角形ABFと三角形FBDの面積の比と等しくなります。BC : CD = 3 : 2より、三角形FBCと三角形FCDの面積をそれぞれ③、②とします。三角形ABFと三角形FBCは2辺とそのはさむ角が等しいので合同です。よって、三角形ABFの面積は③です。

したがって、AE : ED = 三角形ABF : 三角形FBD = ③ : (③ + ②) = 3 : 5です。



(3) B3 情報を活用する 視点を考える 特徴的な部分に注目する

三角形ABFと三角形AFDの面積比はBC : CDに等しく3 : 2です。三角形ABFの面積を③とすると、三角形AFDの面積は $③ \times \frac{2}{3} = ②$ です。

次にAE : ED = 3 : 5より、三角形EFDの面積は $② \times \frac{5}{3+5} = ①.25$ です。

よって、三角形FBCと四角形EFCDの面積比は $③ : (② + ①.25) = 12 : 13$ となります。

## ⑧ (場合の数)

四捨五入するときの数の変化に注意し、場合分けして考えることが大切です。“切り上げる場合と切り捨てる場合”、“切り上げて切り捨てても作ることができる整数”と“切り上げないと作ることができない整数”など、はっきりと分類してとらえられるようにしていきましょう。

カードを並べて作った小数を[A][B][C].Dとします。

## (1) B2 情報を獲得する 調べる

四捨五入するとき切り捨てるので、Dには1から4のどれかが並べばよいことがわかります。

A B C が3けたの整数なので、切り捨てられるように、Dには必ず1から4までのどれかを並べることができます。

よって、求める場合の数は「1から6の数字を並べて3けたの整数A B Cを作る場合の数」に等しく、 $6 \times 5 \times 4 = 120$  (種類) となります。

## (2) B3 情報を活用する 調べる 特徴的な部分に注目する 特定の状況を仮定する

切り上げる場合を考えます。(1)の答えと重複しないのは以下の2つの場合があります。

●切り上げてできた整数の一の位が7になるとき。

A B C.Dが、Cが6、Dが5のとき、A B 6.5はA B 7という3けたの整数になります。

よって、求める場合の数は「1から4の数字を並べて2けたのA Bを作る場合の数」に等しく、 $4 \times 3 = 12$  (通り) となります。

●切り上げてできた整数に同じ数字が2個あるとき。

例えば、231.5は232、643.5は644という同じ数字が2個ある整数になります。同じ数字は2、3、4、5の場合があります。

同じ数字が2のときは、232、242、252、262、322、422、522、622の8種類があります。

同じ数字が3のときは、313、343、353、363、133、433、533、633の8種類があります。

同じ数字が4のときは、414、424、454、464、144、244、544、644の8種類があります。

同じ数字が5のときは、515、525、535、155、255、355の6種類があります。

よって、 $8 \times 3 + 6 = 30$  (種類) です。

以上より、(1)の他に $12 + 30 = 42$  (種類) の整数ができます。

(3) B3 情報を活用する 調べる 特徴的な部分に注目する 特定の状況を仮定する

A B C Dは全部で $6 \times 5 \times 4 \times 3 = 360$ (通り)できます。

よって、四捨五入してできる整数も360個あります。

つまり、□にあてはまる数は360です。

次に、この360個の整数の和を考えます。

360個すべて小数を切り捨てたものと仮定して考えます。

できた360個の整数に使われている数字の総数は $3 \times 360 = 1080$ (個)です。

すべて小数を切り捨てたものとする、この360個の整数には1から6のどの数字も $1080 \div 6 = 180$ (個)ずつ使われ、それぞれの数字が一、十、百の位に $180 \div 3 = 60$ (個)ずつ使われます。

よって、この360個の整数の和は $(1+2+3+4+5+6) \times (1+10+100) \times 60 = 139860$ となります。

しかし、実際には切り上げがあるものがあります。

小数第1位が5(A B C.5)か6(A B C.6)のものなので、全部で $5 \times 4 \times 3 \times 2 = 120$ (個)あります。

切り上げが1個あるたびに和は1増えるので、求める和は $139860 + 1 \times 120 = 139980$ となります。

つまり、□にあてはまる数は139980です。



# 小学6年 社会 — 解答と解説

## 1

問1
大阪府

21

問2
東京には多くの情報を発信する、大企業や出版社が集中しているから。

22

問3	問4	問5	問6	問7	問8
イ	ウ	ア	ウ	43	ア

23

24

25

26

27

28

## 2

問1	問2	問3	問4	問5
東海道 (新幹線)	ウ	ウ	イ	ア

29

30

31

32

33

問6	問7	問8
二酸化炭素 (の) 排出量 (にさんかたんそ) (はいしゅつりょう)	シャッター (通り)	ウ

34

35

36

問9	問10	問11	問12
エ	騒音 (そうおん) (問題)	エ	民 泊

37

38

39

40

問13
コンテナ

41

**3**

問1			問2		
(1)	水無川 (から確保する)	(2)	ウ	ア (と)	エ
42		43		44 (完答)	

問3					
労働力として欠かせない存在。					
45					

問4		問5		問6	問7
干鰯 (ほしか)		醤油 (しょうゆ)		ア	エ
46		47		48	49

問8		問9	問10		
(1)	イ	(2)	ア	ウ	イ
50		51	52	53	

**4**

問1		問2			
イ	(1)	6.18 (円)	(2) 米で納められるよりも、現金で納められる方が政府の収入が安定するから。		
54		56			

問3	問4	問5		問6	問7
エ	オ	藩閥 (はんぼつ) (政治)		ア	ウ (と) カ
57	58	59		60	61 (完答)

問8		問9
日露戦争 (にちろせんそう)		(に備えるため) イ
62		63

(配点)

- 1** 問2 **3** 問3 **4** 問2(2) 各4点  
**2** 問3、問5、問6、問10 **3** 問1(1)、問9 **4** 問2(1)、問8 各3点  
 上記以外 各2点 計100点

【解説】

① 工業に関する問題

問1 A1 想起

大阪府は約1兆4千億円の出荷額があり、東大阪市などでの生産が盛んです。

問2 B2 比較・対照 理由・根拠

印刷業と印刷関連業の製品として新聞やチラシ、雑誌、パンフレットなどがあります。東京都には様々な企業の本社や出版社、新聞社などが集まっていることから情報発信が盛んで、従って印刷業と印刷関連業の需要が高くなっています。

問3 A2 想起 比較・対照

アは石炭、イは鉄鉱石、ウは液化石油ガス、エは肉類の輸入先です。

問4 A1 想起

GPS (GNSS) とは、地上と人工衛星の間で電波のやりとりをして地上にあるものの位置を正確に知るシステムです。そのための衛星「みちびき」が3機2017年に打ち上げられ、精度が飛躍的に向上しました。これにより自動車の自動運転やドローンによる商品配達なども可能になるといわれています。GNIは国民総所得、GHQは連合国軍最高司令官総司令部、GDPは国内総生産の英語の略称です。

問5 B1 想起 理由・根拠

組み立て工場が海外に移転すると、移転先の海外の企業から部品を買うことになるため、日本国内の関連工場は出荷先を失うことになります。したがって関連工場は従業員を解雇せざるを得なくなります。また組み立て工場がなくなることによって、その工場働いていた人を相手にしていたコンビニなどの売上げも落ち、地域経済に大きな影響が出ます。

問6 A1 想起

アは従業者数割合、イは事業所数割合、ウは製造品出荷額割合を示しています。

問7 B1 変換

製造品出荷額等構成の図を見ると軽工業は全体の27.1%を占めていて、そのうち食料品

工業が11.6%となっていますので、 $11.6 \div 27.1 \times 100 = 42.80\%$ となりますので43%となります。

問8 A1 想起

アはセメント工場、イは半導体の工場、ウは自動車工場、エは高炉一貫の製鉄所の分布を示しています。セメント工場は、主原料の石灰石が豊富な埼玉県や山口県に多く見られます。

② 交通に関する問題

問1 A1 想起

2015年度の新幹線旅客輸送量は、東海道新幹線、東北新幹線、山陽新幹線、上越新幹線、北陸新幹線、九州新幹線、北海道新幹線の順になっていて、新幹線全体では3億6571万人を輸送しました。

問2 A2 想起 変換 カテゴリズ

東京（品川）と名古屋、大阪を営業運転での最高時速505kmで結びリニア中央新幹線の工事は、2014年に東京・名古屋間で着工されました。2027年に名古屋までの区間で開業する予定になっていて、所要時間は40分とされています。リニア中央新幹線は東京と名古屋の間をほぼ最短距離で結ぶ予定で、現在中間駅として神奈川県相模原市、山梨県甲府市、長野県飯田市、岐阜県中津川市周辺での設置が予定されていて飛騨山脈は建設予定区間にありません。

問3 B1 想起 理由・根拠 カテゴリズ

地方では鉄道などの公共交通機関を利用するのは、市町村をまたいで通学する生徒が多い反面、車を運転することを認められていない年齢の者が多い高校生と病院に通院する高齢者が中心という状況になっています。特に大都市が札幌しかなく沿線の過疎化が進行しているJR北海道の経営状態は、深刻になっています。

問4 A2 想起 カテゴリズ

イは航空輸送の利点です。乗客が航空機か

鉄道かを選択する境界は3時間前後と言われている、鉄道がそれ以上移動に時間がかかる場合は、航空機が選択される傾向が強くなります。

問5 **A2** **想起** **変換** **カテゴリー**

中央自動車道の高井戸インターチェンジと小牧ジャンクションの間の路線は、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、岐阜県、愛知県を通ります。中央自動車道には他に、山梨県大月と河口湖を結ぶ路線があります。

問6 **A2** **想起** **理由・根拠**

貨客混載とはバスなどの公共交通機関に貨物も一緒に載せて運ぶことで、バスの運転手がトラックの運転手を兼ねることになるため、人手不足への対応が可能になります。またバスとトラックが集約されることにより、二酸化炭素の排出量を減らすことも可能になります。

問7 **A1** **想起**

地方都市では商業施設の駐車場の完備した郊外への移転などに伴って、中心市街地の商店街では空き店舗や空きビルが増え、昼間からシャッターが降ろされている光景が見られます。このような商店街をシャッター通りと呼ぶことがあります。

問8 **A2** **想起** **カテゴリー**

半導体などの電子部品は小型かつ軽量である割に価格が高いため、製品価格に占める輸送量の割合が小さくなり高額の航空運賃にも耐えられます。

問9 **A1** **想起**

2015年度の飛行機による国内旅客数は、1位が東京（羽田）～新千歳（札幌）間で約902万人、2位が東京（羽田）～福岡間で約816万人、3位が東京（羽田）～那覇間で約525万人、4位が東京（羽田）～大阪間で約519万人です。

問10 **B1** **想起** **変換** **理由・根拠**

海上を埋立て人工島に空港を設けると、周囲に人家がないため騒音問題が発生する可能

性が低くなり、運用時間の制約も少なくなります。海上空港には他に中部国際空港や長崎空港、北九州空港などがあります。

問11 **A2** **想起** **カテゴリー**

格安航空会社（LCC）はこれまでより大幅に安い運賃で旅客機を運航する会社のことです。運賃を安くするために経費を最大限切り詰めています。そのため提供される機内食は一般の航空会社に比べて簡単なものだったり、有料だったりします。また映画上映を実施しなかったり、新聞や雑誌は置かないなど機内サービスは最低限のものになっています。格安航空会社は日本でも2012年に発足しました。機内に乗務員が配置されていないということはありませぬ。

問12 **A1** **想起**

日本を訪れる観光客は大きく増加している反面、ホテルの予約が取りにくくなったりしています。そのため旅館業法による規制が一部緩められ、一般の民家やマンションに観光客など旅行者を泊める民泊が、2016年から認められるようになりました。

問13 **A1** **想起**

コンテナは金属製の大型容器で、大きさが統一されていて積み重ねることもできるため特に船での貨物輸送に多数利用されています。

③ 江戸時代の歴史に関する問題

問1

(1) **B1** **変換** **抽象・具体**

新田の開発には水の確保が重要で、地図にある新潟県八ヶ原扇状地では地下水の温度が低いため、水無川の水を引いてくる用水路の建設が必要なことでした。この地域は高田藩の支配下にあり、高田藩は積極的に開発計画を進めました。

(2) **A2** **想起** **カテゴリー**

シャクシャインの戦いは1669年に起きた、アイヌの総首長であったシャクシャインが松前氏に対して起こした戦いです。この戦いは

アイヌ側の敗北に終わり、これ以降松前藩のアイヌ支配は過酷さを増していきました。伊能忠敬が蝦夷地を測量したのは1800年、大塩平八郎の乱が起きたのは1837年、大坂冬の陣が起きたのは1614年のことです。

問2 A2 想起 変換 比較・対照

江戸時代には農業技術も大きく進歩して新しい農具が登場しました。アの踏車は灌漑のための、イの千歯こきやエの唐箕、オのからさおは収穫した稲を茎から外す作業である脱穀に使用しました。ウの千石どおしは穀粒の大小を選別するための、カの備中鍬は耕耘のための農具です。問題文ではアの踏車とエの唐箕の説明が逆になっています。

問3 B2 変換 理由・根拠

図では女性が扱管で稲穂を挟みしごく作業の場面が描かれています。江戸時代の農村では女性は貴重な労働力として存在していました。

問4 A1 想起

干鰯は鰯や鰺を日干しにした肥料です。金銭を支払って購入する肥料である金肥には干鰯や油粕の他に粕などがありました。綿花などの商品作物の栽培に用いられました。

問5 A2 想起 具体・抽象

醤油は大豆を乾燥させたのちに煎って、蒸した小麦を混ぜ麹を入れてかき回し、最後に食塩水を入れて発酵させるという工程で製造しました。江戸時代、醤油は現在の千葉県野田や銚子、京都や兵庫県の龍野などで盛んに生産されました。

問6 A2 想起 カテゴリー

菜種はアブラナ科の植物で、採油を目的として栽培され、油は菜種油と呼ばれ灯油の原料として江戸時代の生活に欠かせないものでした。藍は染料、漆は塗料、三桮は和紙の原料として用いられました。

問7 A2 想起 カテゴリー

村役人は代官などの指示を受けて村政にあたった本百姓からなる農民で、名主、組頭、

百姓代の村方三役がその中心でした。地主とは一般的には土地の所有者のことを指し、村役人ではありません。

問8

(1) A1 想起

北前船は江戸時代の中期頃から西廻り航路で用いられた、北海道や東北地方の物資を下関を経由して大阪に輸送した船です。樽廻船と菱垣廻船は主として江戸と大阪の間で酒などを輸送することに用いられた船、高瀬舟は河川や湖沼の水上市運送に広く用いられた小型の船です。

(2) A1 想起

西廻り航路では、蝦夷地から昆布の他に年貢米やフカヒレ、干しなまこなどの俵物が、京都や大阪など上方方面に輸送されました。

問9 A2 想起 変換 カテゴリー

図から分かるように江戸時代の東海道は、現在の名古屋市熱田から海路で現在の三重県桑名へ向かっていて、岐阜は通っていませんでした。岐阜を通過していたのは中山道です。

問10 A1 想起

江戸幕府は大名を統制するための手段として、大名には江戸と国元を原則として1年交代で往復することを、大名の妻子には江戸住みを強制しました。そのため大名の妻子が江戸から脱け出ることを厳重に監視し、箱根や小仏などの関所での江戸から地方へ出る武家の女性の取り調べは非常に厳しいものとなっていました。

4 明治時代の歴史に関する問題

問1 A1 想起

戊辰戦争は、1868年の鳥羽・伏見の戦いから1869年の函館五稜郭の戦いまでの、旧幕府軍と新政府軍の間で起きた一連の戦争のことです。薩英戦争は1863年に、日中戦争は1937年から、西南戦争は1877年にそれぞれ起きました。

問2

## (1) B1 変換

地租は地価の3%ですから、

$206 \times 0.03 = 6.18$  (円) となります。

## (2) B2 想起 変換 理由・根拠

大久保利通らの建議により、地租改正が行われました。地租改正ではそれまで米で納めていた年貢を、豊凶に関係なく地価の3%を土地所有者が金納することになりました。表にあるように、米価は豊凶によってかなり変動するため政府は一定の収入を得ることができていませんでしたが、この改革により政府は毎年一定の税収が毎年見込めるようになりました。

## 問3 A2 想起 変換

1875年に結ばれた樺太・千島交換条約で、樺太全島をロシア領、千島全島を日本領とすることが定められました。交渉には駐露公使の榎本武揚があたりました。

## 問4 A1 想起

板垣退助らはフランス流の急進的な主張のもとに自由党を結成し、自由民権運動の拡大に努めました。大隈重信らはイギリス流の立憲君主制を主張して1882年に立憲改進黨を結成しました。黒田清隆は第2代内閣総理大臣です。

## 問5 A2 想起 カテゴリー 具体・抽象

明治時代には、薩長土肥、特に薩摩藩と長州藩の出身者を中心として行われた藩閥政治と呼ばれる政治が行われました。

## 問6 A2 想起 立証

大日本帝国憲法は伊藤博文らが主に君主の権力が強いドイツ(プロシア)の憲法を参考に作成し、天皇が臣民に与える欽定憲法という形で、1889年2月11日に発布されました。大日本帝国憲法では主権が天皇にあり、臣民には制限された権利しか認められていませんでした。現在の日本国憲法から見ると、基本的人権の尊重などで不十分な点が多いものですが、この憲法が発布されたことにより、日本は東アジアで最初に、憲法に基づいて政

治が行われる立憲君主国となりました。

## 問7 A1 想起

第1回衆議院議員総選挙の時に選挙権を持つ者は、直接国税15円以上納めた25歳以上の男子に限られていました。これは全人口の約1.1%程度でした。直接国税3円以上納めた25歳以上の男子に選挙権が与えられたのが1919年、25歳以上のすべての男子に選挙権が認められたのは1925年に改正された衆議院議員選挙法(普通選挙法)以降、20歳以上の男女に選挙権が認められたのは、第二次世界大戦後の1945年のことで、2016年の公職選挙法改正によって現在は満18歳以上の男女に選挙権が認められています。

## 問8 B1 想起 理由・根拠

日清戦争の講和会議には、日本側からは当時首相だった伊藤博文と外務大臣だった陸奥宗光が、清側は李鴻章らが参加しました。この会議の結果結ばれた下関条約で、清は賠償金2億テールを払うことを認めました。日本は今後ロシアとの戦争が避けられないものと認識で、軍備増強に多くの資金を投下しました。

## 問9 A2 想起 立証

日本は1910年に韓国を併合した後、軍事力などを背景とした植民地支配を開始しました。学校では日本語を話すことを義務づけ、朝鮮の歴史を教えることを禁止しました。土地調査事業を通して所有者の不明な土地は没収され、土地を失った朝鮮の人々の中には日本へ移住する人も多く見られました。朝鮮米などの移出は日本の食料不足をほぼ解消しましたが、朝鮮での食料不足は深刻化しました。

## (記述問題の採点について)

- ・解答の字数制限に従っていない場合  
…不正解
- ・明らかな誤字・脱字がある場合  
…-1点
- ・文章・文末表現の不備がある場合  
…-1点

# 小学6年 理科 — 解答と解説

**1**

(1)									
①	○	②	×	③	○	④	×	⑤	×
21		22		23		24		25	

(2)	(3)	(4)	(5)
225 m	510 m	247.5 m	4.4 秒
26	27	28	29

(6)									
音	が	高	く	な	っ	て	い	る	。
30									

**2**

(1)	(2)	(3)
食物連鎖	光合成	ア・工
31	32	(完答) 33

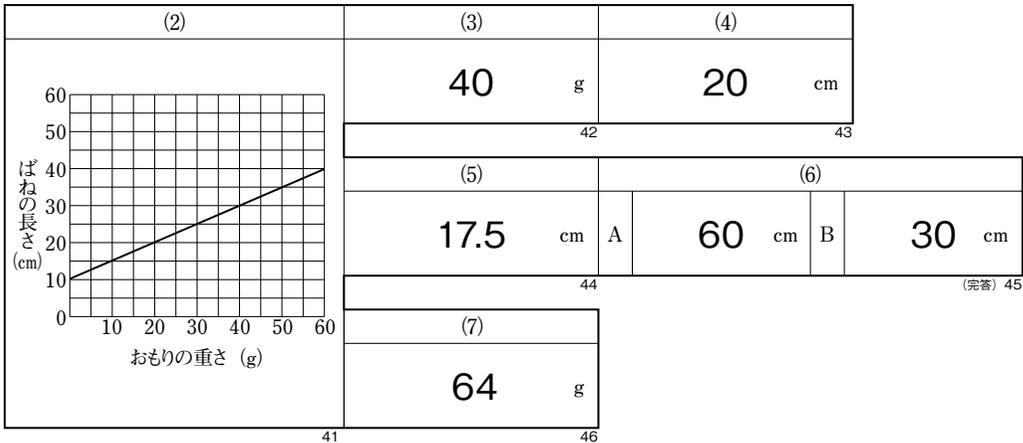
(4)	(5)			(6)	
(生物) A	A	ア	C	イ	工
34	(完答) 35			36	

(7)	(8)	(9)
4 倍	1.2 mg	15 倍
37	38	39

**3**

(1)
10 cm
40

- (配点)
- |   |                              |   |       |
|---|------------------------------|---|-------|
| ① | (1)各1点×5=5点<br>他各2点×5=10点    | } | 計100点 |
| ② | 各3点×9=27点                    |   |       |
| ③ | 各3点×7=21点                    |   |       |
| ④ | (1)(2)各2点×2=4点<br>他各3点×4=12点 |   |       |
| ⑤ | 各3点×7=21点                    |   |       |



**4**

(1)	(2)	(3)	(4)
公転	①	D	ア
47	48	49	50

(5)	(6)
イ	66.6 度
51	52

**5**

(1)	(2)	(3)	
黄 色	水素	A	F
53	54	55	56

(4)	(5)	(6)
A・E	B・E	A と C
(完答) 57	(完答) 58	(完答) 59

【解 説】

① 音の性質と進み方についての問題

(1) **A1** **知識**

①光は真空でも進むことができますが、音が伝わるには、振動を伝えるもの(空気など)が必要なので真空では音は伝わりません。

②音が伝わる速さは、固体→液体→気体の順におそくなっていくので、空気中より糸電話の糸の方が速く音を伝えます。ただし、糸がたるんでいるときは音を伝えることができません。

③スポンジや布などやわらかいものに音が当たると、そこで音は吸収されてしまいます。

④音が固いものに当たったときは、光と同じように反射します。

⑤弦を強くはじくと、弦のゆれはば(振幅)が大きくなって大きい(強い)音が出るようになります。音の高低は振動しているものの振動数(1秒あたりの振動する回数)のちがいによって起こるので、弦を短くする、強く張る、細い弦に取りかえるなどしないと高い音にはなりません。

(2) **B1** **根拠** **変換**

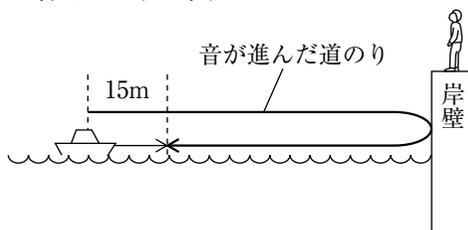
船から出た音が海底で反射してもどってくるまでに0.3秒かかったので、海底までの片道では0.15秒で伝わったことになります。このことから、海底までの距離は、 $1500 \times 0.15 = 225$  (m)と求められます。

(3) **B1** **根拠** **変換**

音は空気中を毎秒340mの速さで伝わるので、1.5秒間に音が進んだ道のりは、 $340 \times 1.5 = 510$  (m)になります。

(4) **B1** **根拠** **変換**

船は1秒間に10mの速さで岸壁<sup>がんべき</sup>に向かって進んでいるので、1.5秒後には、 $10 \times 1.5 = 15$  (m)進みます。音が進んだ道のりから船が進んだ15mを引いたものが、船で反射音を聞いたときの岸壁までのきよりの2倍になることから、 $(510 - 15) \div 2 = 247.5$  (m)が答えになります。



(5) **B1** **根拠** **変換**

岸壁まで1700m離れた地点から鳴らした『鳴らし始めの汽笛の音』は、 $1700 \div 340 = 5$  (秒後)に聞こえます。一方、汽笛を5秒間鳴らしている間に200mだけ前進している高速船が鳴らした『鳴らし終わりの汽笛の音』は、 $1500 \div 340 = 4.41 \dots = 4.4$  (秒後)に聞こえるため、岸壁に立っている人には、 $5 - (5 - 4.4) = 4.4$  (秒間)の汽笛として聞こえます。

(6) **B2** **知識** **根拠** **具体**

岸壁に立っている人には、5秒間鳴らした音が4.4秒間に短縮されて聞こえるので、振動数が増えた高い音に変化しています。このように、音を出しながら物体が近づいてくるときに音が高く聞こえたり、反対に音を出しながら物体が遠ざかるときに音が低く聞こえる現象をドップラー効果とよんでいます。

② 生物のつながりについての問題

(1) **A1** **知識**

植物は草食動物に食べられ、草食動物は肉食動物に食べられます。このように、自然の環境においていろいろな生物が食べる食べられるの関係でつながれていることを『食物連鎖』とよんでいます。

(2) **A2** **知識** **根拠**

矢印Xは生物Aが二酸化炭素を取り入れていることを表していますが、葉緑体を持った植物は、光が十分にあたる環境のもとで、吸収した水と葉の気孔から取り入れた二酸化炭素を原料にして、でんぷんと酸素を作ります。このように植物が光のエネルギーを利用して水と二酸化炭素からでんぷんと酸素をつくる活動を『光合成』とよんでいます。

(3) **A2** **知識** **根拠**

二酸化炭素を取り入れる光合成と二酸化炭素を出す呼吸の両方をおこなっている生物Aは、葉緑体をもった生き物ということになります。シイタケのような菌類は葉緑体を持たず、ミジンコは動いてエサを食べる動物プランクトンのなかまなので生物Aにあてはまるものはアとエになります。

(4) **A1** **知識**

生物Cは一生の間にたくさんの生物Bを食べ、その生物Bも一生の間にたくさんの生物Aを食べるため、これらの中で数が最も多いのは生物Aになります。

(5) **A2** **知識** **根拠**

生物Aは生物Bに食べられているので、生物Bの数が減ることによって食べられてしまう回数が減るために数が増えます。一

方、生物Cは生物Bを食べて生活しているので、えさとなる生物Bの数が減ると、栄養が取れなくなって生物Cの数も減りません。

(6) **A1** **知識**

二酸化炭素からでんぷんという栄養分を作っていることから、生物Aのような緑色植物を生産者とよんでいます。生物Bや生物Cは自分で養分を作ることせず、他の生物を食べる生活するので消費者とよばれています。土の中にいるバクテリア(細菌類)などのような生物Dは、生物の死がいやふんをもとの二酸化炭素に分解していることから、分解者とよばれています。

(7) **B1** **抽出** **比較**

図2により、1kgのサバの体内にたまった物質Yの量が0.08mgで、同じ重さのイワシの体内にたまった物質Yの量が0.02mgとわかるので、 $0.08 \div 0.02 = 4$ (倍)濃くなっているといえます。

(8) **B1** **抽出** **置換**

サバ1kgあたりに物質Yが0.08mgふくまれているので、15kgのサバには、 $0.08 \times 15 = 1.2$ (mg)の物質Yがふくまれています。

(9) **B2** **抽出** **比較** **置換**

(8)より、マグロが1kg体重を増やすために食べるサバには1.2mgの物質Yがふくまれています。このことから、成長したマグロ1kgあたりに1.2mgの物質Yがふくまれることになるので、物質Yの濃さは、サバとくらべると、 $1.2 \div 0.08 = 15$ (倍)になっていることがわかります。

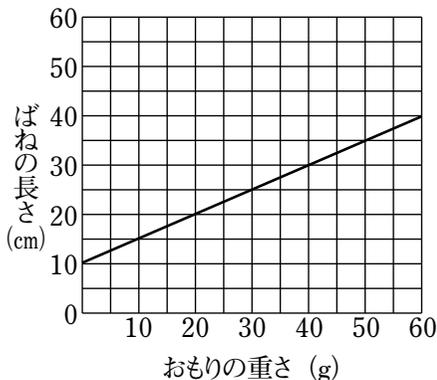
③ 力のつり合いについての問題

(1) B1 根拠 比較

表を見ると、ばねAにつるすおもりの重さを10gから20gに10g増やすと、ばねAの長さは15cmから20cmに5cmのびています。ばねののびは、おもりの重さに比例して規則正しく変化するので、ばねAにつるした10gのおもりをはずして何もつるさない状態にすると、ばねの長さは $15-5=10$ (cm)になり、これがばねAの自然長となります。

(2) B2 抽出 比較 具体

(1)により、ばねAの自然長が10cmとわかったので、おもりの重さが0gのときはばねの長さが10cm、10gのときは15cm、20gのときは20cm、30gのときは25cm、以降も規則正しくばねAはのび、40gのときは30cm、50gのときは35cm、60gのときは40cmとなります。これらを示す目もりの場所に7つの点を記入して、すべての点を通るような直線を描けば答えのグラフとなります。



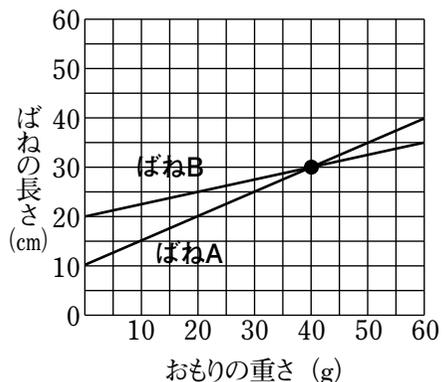
(3) B1 抽出 比較

表により、ばねAは10gにつき5cmずつのび、ばねBは10gにつき2.5cmずつのび

ることがわかります。両方のばねに30gのおもりをつるしたときに、 $27.5-25=2.5$ (cm)だけばねBが長くなっているの、あと10g増やして40gのおもりをつるせば、両方のばねが30cmになって同じ長さとなります。

【参考】

(2)と同じようにしてばねAのグラフの上にはばねBの長さの変化のグラフを書くとな下の図ようになります。このときばねAのグラフとばねBのグラフの重なっている点が、ばねAとばねBに同じ重さのおもりをつるして長さが同じになるところを示しています。この点を読みとると、40gのおもりをつるしたときに、ばねAもばねBも長さが30cmになるとわかります。



(4) B1 根拠 置換

図2のように、ばねAの両側に20gのおもりをつるしても、片方のおもりはばねが引かれても落ちていかに支えていると考えられるため、実際にはばねAを引いている力の大きさは20gになります。したがって、ばねAの長さは20cmだとわかります。

(5) B1 根拠 置換

重さの無視できる棒につるされている30gのおもりは、2本のばねAによって支えられているので、1本のばねAには15gの力が加わっています。ばねAの自然長は10cmで、10gで5cmのびるので、15gの力が加わる時は、 $5 \times \frac{15}{10} = 7.5$ (cm)だけのびて、 $10 + 7.5 = 17.5$ (cm)になります。

(6) **B1** **根拠** **置換**

図4のように2個のおもりをつると、ばねAには $60 + 40 = 100$ (g)の力が加わり、ばねBには40gの力が加わります。したがって、ばねAの長さは、 $10 + 5 \times \frac{100}{10} = 60$ (cm)になり、自然長が20cmで10gにつき2.5cmずつのびるばねBは、 $20 + 2.5 \times \frac{40}{10} = 30$ (cm)になります。

(7) **B1** **根拠** **置換**

ばねAとばねBを1本につないだばねの自然長は、 $10 + 20 = 30$ (cm)で、10gのおもりをつると、 $5 + 2.5 = 7.5$ (cm)のびるばねになります。このような1本につながれたばねが78cmになるのは、全体で $78 - 30 = 48$ (cm)だけのびているからで、下につるされたおもりの重さは、 $10 \times \frac{48}{7.5} = 64$ (g)だったとわかります。

4 季節と太陽についての問題

(1) **A1** **知識**

天体が他の天体のまわりを周期的に回るような動きを公転といいます。一方、天体自身が地軸を中心に回転するような動きを自転といいます。

(2) **A1** **知識**

北極が上になるようにして描いた図1において、地球の自転と公転はともに反時計

回りになっているため、地球の公転方向は①になります。

(3) **A2** **知識** **根拠**

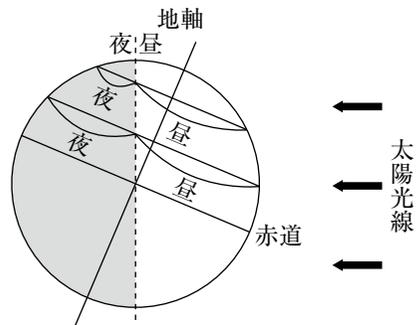
図1のAのように地軸が太陽の方にかたむくと、北半球の地点では太陽高度が高くなるので、ここに地球があるときが夏至の日のころです。さらに、地球は太陽のまわりを反時計まわりに公転していくのでBが秋分の日、Cが冬至の日、Dが春分の日地球の位置になります。

(4) **A2** **知識** **根拠**

冬至の日になると、太陽は少し南にずれた東の地平線からのぼり、南の低い空を通過して、少し南にずれた西の地平線にしずみます。このことから、透明半球上に太陽の動きを記録するとAのようになります。

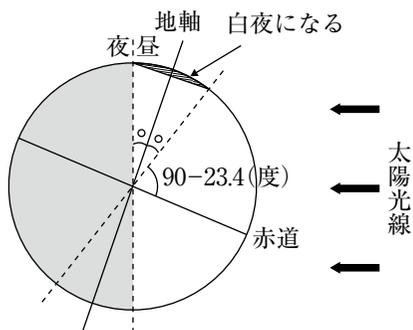
(5) **B1** **根拠** **比較**

夏至の日には、図1のAにある地球のように地軸を太陽の方に傾けた状態で太陽光線を受けています。この状態で地球が自転すると、下図のように北半球では高緯度の地点になればなるほど、1日に対する昼の長さの割合が大きくなっていることがわかります。したがって、長崎と札幌で昼の長さをくらべると、より高緯度の地点である札幌の方が昼の時間が長いといえます。



(6) B2 知識 根拠 具体

(5)の図でもわかる通り、北半球でより高緯度の地域である北極周辺は、地球が自転してもずっと太陽光線が当たり続けるので白夜になります。下図において、地軸の傾き(○の角度)が23.4度のとき、地軸をはさんだ反対の角度も23.4度になるため、白夜となる地域は北緯が、 $90-23.4=66.6$ (度)以上の場所であることがわかります。



5 いろいろな水溶液についての問題

(1) B1 知識 比較

実験③で、蒸発皿に少量とって加熱したときに、炭素が多くふくまれるために黒くこげてしまった水溶液Bは砂とう水だとわかります。また、加熱して水を蒸発させたときに白い固体が残った水溶液CとDは、食塩水と水酸化ナトリウム水溶液のどちらかですが、実験①で赤色のリトマス紙が青色に変化した水溶液Cはアルカリ性の水溶液なので、水溶液Cが水酸化ナトリウム水溶液、水溶液Dが食塩水だとわかります。実験③で何も残らなかった水溶液A・E・Fの中で、実験②でBTB溶液を少量加えたときに緑色となり、中性の水溶液だと判断できる水溶液Eはアルコール水溶液で、さらに実験④でアルミニウムを溶かした水

溶液Aが塩酸、残った水溶液Fが炭酸水だとわかります。水溶液Aの塩酸は酸性なので、BTB溶液を加えると黄色になります。

(2) B1 知識 抽出

塩酸や水酸化ナトリウム水溶液にアルミニウムを加えると、細かいあわを出しながらアルミニウムが溶けていき水素が発生します。水素は、無色無臭の水に溶けにくい気体で、空気のおよそ0.07倍の重さしかありません。また、水素は可燃性の気体で、水素の入った試験管に火のついた線香を入れると、『ボン』と音をたてて小さなぱく発が起きます。

(3) B1 知識 抽出

水溶液Aの塩酸は、塩化水素という気体を水に溶かした水溶液です。また、水溶液Fの炭酸水は、二酸化炭素を水に溶かした水溶液です。

(4) B1 抽出 分類

水溶液A～Fの中でにおいがあるものは、水溶液Aの塩酸と水溶液Eのアルコール水溶液の2つです。

(5) B1 抽出 分類

水溶液A～Fの中で電流を通さないものは、水溶液Bの砂とう水と水溶液Eのアルコール水溶液の2つです。

(6) B1 知識 抽出

水溶液Aの塩酸と水溶液Cの水酸化ナトリウム水溶液とまぜると食塩水ができます。このように、酸性の水溶液とアルカリ性の水溶液をまぜると、たがいに相手の性質を打ち消して、中性の別の水溶液になる反応を、中和(反応)とよんでいます。

(記述問題の採点について)

- ・解答の字数制限にしたがっていない場合…不正解
- ・明らかな誤字・脱字がある場合  
… - 1点
- ・文章表現の不備がある場合  
… - 1点

**1**

問一	A	21
	エ	
	B	22
	イ	
	C	23
	ア	
	D	24
問二	ウ	25
	五月	
	の	
	終	
	わ	

問三	1	
	ウ	
	2	
	イ	(完 巻)
	3	
	ア	26
問四	a	
	ウ	27
	b	
	エ	28
	c	
	ア	29

問五	1	
	ま	
	じ	
	め	30
	2	
	イ	31
問六	イ	32
	エ	33
問七	唇	
	か	
	ら	
	こ	
	ぼ	34

問九	ア	35
----	---	----

**2**

問一	A	36
	エ	
	B	37
	イ	
	C	38
	ウ	
	D	39
問二	ア	40
	なん	
	と	

問三		
し	い	心
た	中	を
い	で	う
と	、	ち
願	友	あ
っ	だ	け
て	ち	て
い	づ	話
る	き	せ
。	あ	る
	い	友
	は	人
	深	が
	入	い
	り	な

小学六年  
**国語**  
——  
解答と解説

<b>5</b>		<b>4</b>		<b>3</b>			
①	婦人	①	間	①	夏	問七	問四
	59	54	②	49	②	利害	(ア)
②	59	55	客	50	③	得失	イ
③	60	56	③	51	④	失	(ウ)
祝賀	60	57	進	52	⑤	問八	エ
④	61	58	④	53	⑤	工	42
辞	61		消		秋	問九	問五
⑤	62		⑤		春	A	工
貧弱	62		復		春	作	問六
④	63				為	B	住
減速	63				自然	47	む
						48	世界
							が
							44

(完答)

(配点)  
 { ① [問一・四]各3点、他各5点  
 ② [問一]各3点、[問三] 7点、他各5点 } 計150点  
 ③④⑤ 各2点

【解説】

1 重松清の「卒業」から出題しました。

僕の妹のまゆみが、どうしても授業中に歌を口ずさんでしまうのは、幼いときからのくせだったので、母親はそんなまゆみを厳しく叱りつけようとはしません。そんな母親を見て僕は、はがゆくてなりません。

いま当時のことをふりかえりながら、僕は、あるとき「母がもつと厳しく叱っていれば、もしかしたら……」という気持ちをするのができないのです。

問一 A2 知識 関係

最もふさわしいことばを入れる問題です。前後の関係に着目しましょう。

A 「それでも」も入りそうですが、「それでも」を入れると、「それでも黙っている。それでも、先生が……」とつづく、おかしい文章になってしまいます。

B 「……と素直に答える。それでも、しばらくすると……」と、あとに反対の内容がつづきます。

C 「ゆっくり」と同じように、「時間をかけて」いるようすを表すことばが入ります。

D 「……みたいだった」にふさわしいのは、「なんだか」です。

問二 B1 比較 具体化

先生の心情が変化する前後を比較し、そのきつかけとなった具体的な出来事が書かれている場所に着目しましょう。

僕が先生に呼び止められて、いろいろ聞かれるときには、もう先生には、このままではいけないという気持ちがあったのでしよう。そのまえに、「まゆみの歌がうるさい、という声と同級生からあがるようになった」、「どうなってるんだ、と親から学校に電話が入る」というようなことがありました。六月にも「教室の後ろに並んだ親たちは、一瞬、なにが起こったのか信じられない顔になり、先生の顔色が、さあつと変わった」ということもありましたが、きつかけとなったのは「五月の終わり頃……」になります。

問三 B1 関係

僕が心の中で、先生のことばに反応しています。これを手がかりとします。

1 には、「近所にも仲良しの友だちが何人もいるし……」と答えています。ウに對するものですね。

2 には、「ゆっくり、じっくり、時間をかけてつくっていく」と答えていますから、イに對するものでしょう。

3 に対しては、「うなずきかけた」のですから、アになります。

問四 B1 置換 抽象化

a のまえには、「そういうことを順序立てて話したかったのに、胸がつつかえて」とありますから、ウが適当です。b のあとには、「困ったなあ、という顔をしていた」とつづいていますから、エがいいでしょう。c は、「先生は、僕がまゆみをかばって嘘をついていると思っっているのかもしれない」という気持ちからきていますのでしよう。アです。

問五

1 **B1** 抽象化

先生は、「大野くんはまじめだから、将来は立派なおとなになります」と評価してくれていました。「まじめ」だから、嘘などつかないということです。

2 **B1** 理由 **推論**

それでも嘘をついた理由は、「うなずきかけたとき、背筋がこわばった」から想像できます。「うなずきかけたとき」までは、嘘をつく気はなかったはずですが、そのあとで、「先生はまゆみのことを病気だと思っているのかもしれない」と不安になり、本当のことが言えなくなったのです。「たまたまかける先生の勢いに気おされて……」は、本当のことを言えなくなったきっかけですが、嘘をついた理由そのものではありません。

問六 **B1** 抽象化

「うなずきかけたとき、背筋がこわばった」ような気持ちで、「しばらく沈黙がつづいた」わけですから、かなり緊張していたと考えられます。嘘をついたことを後悔しているわけではないかもしれません。

問七 **B1** 理由

「教室で勉強をするのが、楽しくて、嬉しくて、誇らしくてしかたなかったのだ。だから——歌う」と、理由が説明されています。また、止められなかったのは、「本人も意識しないうちに歌ってしまっている」からです。

問八 **B1** 置換

「唇くちびるからこぼれ落ちるように歌が出てしまふ」と書かれています。「唇くちびるからこぼれ落ちるように」が比喩ひゆです。

問九 **B1** 理由 **推論**

「あの段階で母がもっと厳しく叱なぐつていれば、もしかしたら……と思う。母はやはり、まゆみを甘あまやかしすぎていたのだ」に着目しましょう。母に対する批判的な気持ちを読み取ることができます。

**2** 森本哲郎「ことばへの旅」より出題しました。

友だちとは深いつきあいをしたいと願いつつ、一方では、心をうちあげられるような友人がいらないという、日本の青年の実情を知った筆者が、莊子せうしのことばを思い出しつつ、友人とのつきあいについて思うことを書いた文章です。

問一 **A2** 知識 **関係**

接続語の問題です。

A 「いやになってしまいます」と「けっしていやになることとがありません」とをつないでいます。逆接です。

B 「友人はいつか知人ちじんに変わっていつてしまっている」の例として「同窓会などで顔を合わせるようなとき……」があげられているのですから、「たとえば」が入ります。

C 「……結ばれた人間関係じんかんかんけいでしかありません」が原因で、「そのような人間関係じんかんかんけいにやりきれなくなった」が結果です。

D 「おとなはおとなであつて、どう試ためみても子どもになれ

るわけではないからです」とあります。この部分が理由になりますから、「なぜなら……からです」と結びます。

問二 B1 置換

「なんと」ということばに、おどろいたという気持ちがこめられています。

問三 B2 筋道 比較

「どのような実情の中で、どのような欲求を抱いているのですか」と聞かれていますので、「中でている」という答えをつくります。このにあてはまることばを文中からぬき出してみましょう。

まず、ほかの国の青年たちと比較して、日本の青年たちの実情がどうなっているのかと考えてみましょう。すると「心をうちあけて話せる友人……そうした友人を持つていない」という箇所がみつかります。これをまとめると、「心をうちあけて話せる友人がいない」となります。

次に欲求の方では、「友だちつきあいは深入りしたほうがよい」ということばがうかんできます。少し短くすると「友だちとは深くつきあいたい」というようなことばになります。この二つを、先のにあてはめると、「心をうちあけて話せる友人がいない中で、深くつきあえる友人を求めている」というような答えができあがります。

※ 設問の指示や字数・文字指定に従っていないものは不正解とします。ただし、誤字脱字が一つの場合は減点1点、二つある場合は減点2点、それ以上は不正解とします。また解答の説明に過不足がある場合は減点3点とします。

問四 B1 理由

一つの理由は、直後の「すぐ口のなか甘ったるくなつて、いやになつてしまいます」、さらに「……甘く、うまいがゆえに長つづきしません。すぐ倦きてしまいます」とくり返されています。あまりにも濃密なつきあいであるために、倦きるのはやいということでしょう。

もう一つの理由は、「醜のように作為的であり……しまいに作為に疲れはてて」に着目してください。「醜」のようなつきあいを続けるためには、作が必要であり、その作を続けることに疲れてしまうと、つきあいも終わってしまうということですが、作は、自然なことではありませんから、どうしても無理をすることになりますね。

問五 B1 理由 比較

子どもと比較し、大人が年とともに友だちが減る理由を明確にしていきましょう。子ども時代の友人が減っていくことは、次に説明されていますが、かわりにおとなになってからの友人がふえれば、友人全体としては減らないはずですから、ここで友人全体が減る理由を考えなければなりません。

「むろん、人間はいつまでも……」の段落に着目してください。この段落の最後の「むかしの子どもころのような友だちの関係をもちたいと切望して、深入りをし、『ことになつてしまうのです』が、答えになります。つまり、「おとなのつきあい」ではがまんできず、子ども時代と同じ友人を持つとうと、深入りしてしまうから、逆に友人を減らしてしまうということです。

問六

**B1** 理由

直後に「なぜなのでしょう……からでしょう」と説明されています。

のような「つきあい」はできません。

問七

**B1** 比較 類推 関係

空らん前後に着目し同じ内容がないかを比較しましょう。「そのおとなのつきあいというのは……」に着目すると、最終段落にも「おとなの交友は」と説明している部分があります。この箇所と対照してみると「利害得失」ということがうかがえます。

問八

**B1** 理由 比較

子どもとおとなの世界を比較してみましょう。「子どものころの友だちは……まったく自然だからです」と書かれ、一方「おとなの交友は……作法的であり……」と書かれています。つまり、おとなは子どものように、自然にふるまうことができないのです。その理由は「社会に出れば、それぞれの立場ができ、それぞれのルールに拘束され……」と説明されています。

問九

**B1** 置換 具体化

子どもとおとなの友人関係が具体的に述べられている箇所を探しましょう。すると子どものつきあいは「自然」であり、おとなのつきあいは「作法的」だと説明されています。子どもものつきあいは「水のような淡々<sup>たんたん</sup>としている」ものですから、「作為」を捨て、「自然」につきあうようにしなければ、「水